

T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol.33
.....

～目次～

- 【1】TKK活動
 - 【2】関連団体の活動
 - 【3】行政等の活動
 - 【4】新コーナー 「行ってきました、聞いてきました！」
-

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 —

-----∞
【1】TKK活動

* *

-----∞
<高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会>

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=158

●2016年度 第1回 5月29日、慈恵会医科大学 西新橋校

- ① [高次脳機能障害の回復を考える～地域ケアを通して] 長谷川 幹氏
- ② [高次脳機能障害の家族支援～事例を通して～] 山口 加代子氏、
- ③ [高次脳機能障害の方への生活支援～グループホームの立上げの経験から] 山河 正裕氏
- ④ [高次脳機能障害のある方を守る地域の包括支援づくり～コミュニティーソーシャルワーカーの活動] 勝部 麗子氏

====4年目の講習会でしたが、今年も東北から九州に渡る広範囲から多くの支援者(専門家)の方々に来て頂きました。受講生の85%が支援者(専門家)だったとのことです。高次脳機能障害の対応のために真摯に学ぼうと参加して下さる方々に、ただただ感謝の思いでございました。

今回も、4人の講師の方々が、様々な対応の視点から、多くの事例を交えてのご講演でした。何年も継続して受講なさった方々から、今回も大変役に立ちました、初めて受講の方々からは、こんなに様々な内容を集約した素晴らしい講習会は初めて、とのお声を頂き、続けてきた苦勞が報われた思いです。私にとっても感動の一日でした。

====細見みゑ

・第2回 9/11(日)開催の申込み締め切りを8月31日(水)に延期しましたので、今からでもお申込み頂けます。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=167

● 2016年度 第1回 TKK理事会・総会、 6月19日(日)、 調布市国領アクロス

====理事会は全員出席の元、審議に入り、27年度実施の各事業の決算等々が承認されました。今年は、2年任期満了につき役員全員退任の年でした。板野遵三郎監事の退任の申し出以外は、他全員の就任の意志が確認されましたので、理事長、副理事長、理事、監事それぞれは 今までとおりの重任することが承認されました。尚、伊地山敏氏、高井 玲子氏の新理事就任について、理事全員の承認が得られました。28年度の事業計画書、予算書、新任理事を含めた役員名簿、社員名簿についても承認されました。理事会後の総会は、議決権のある28年度正会員

33名中、31名の出席により成立し、先の理事会で承認された議題が承認されました。以上、皆様のご協力により、28年度の理事会・総会が開催され、終了いたしましたこと、感謝申し上げます。終了後、懇親交流会が開催され、情報共有、意見交換で有意義な時を過ごすことが出来ました。28年度も、TKK の事業目的が遂行できますよう、皆様のお力添えを、何とぞよろしくお願い申し上げます。 = = = 細見みゑ

●2015年度活動報告

ホームページに2015年度活動報告をUPしました。 <http://www.brain-tkk.com/npoact/enkaku.php>

<2016年度医療及び家族相談会>

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardCode=FB20_1198201667&boardAct=view&crtPage=1&readNum=162&replyNo=126

第1回 6月26日(日)、第2回 7月31日(日)を実施し、両日合わせて5組の方からのご相談を受けました。引き続き10月、11月2017年1月、3月に開催します。

なお本年度からご相談は各回とも先着順で1回に3組まで、1組につき1時間を目途として順次、ご相談に応じます。

【2】関連団体の活動

* *

●日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 2016in東京 6月11、12日 東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂

====この東京大会の実行委員を任命されていまして、開催一年前から、毎月のように実行委員会に参画してきました。この大会は、脳損傷者の支援を如何に構築したら良いか、ではなく、脳損傷者の自立と自己決定は如何にあるべきかを問い、如何に表現するかがテーマでした。実行委員やスタッフ、演台に上がったパネリストも当事者が半分近くを占めていました。よって、自立や自己決定と言われても、高次脳機能障害が重い当事者やそのご家族にとって、いい意味でも悪い意味でも、ショックが大きかったようです。

私は二日目の12日にポスター発表の部屋で、「高次脳機能障害をもつ人とその家族のために!! 東京高次脳機能障害協議会(TKK)の方向性(目的)と活動(事業)」のテーマで講演する機会を頂きました。 = = = 細見みゑ

●板橋区高次脳機能障がい講演会&シンポジウム 6月28日、事務局:みんなのセンターおむすび

板橋区地域自立支援協議会高次脳機能障がい部会/区西北部高次脳機能障害支援普及事業 共催

・講演「高次脳機能障がい者支援と地域連携」豊島病院 中島英樹医師

・シンポジウム「高次脳機能障がい者の支援の実際」

====参加者122名(行政、医療機関、ケアマネ、事業所など)、シンポジウムでは二事例をもとにシンポジストが意見交換。事例の当事者・家族の方も出席され、お話が聞けてとても貴重な機会だったと参加者から好評でした。

板橋区では自立支援協議会の専門部会に高次脳機能障がい部会があり都内では珍しいようです。

====みんなのセンター おむすび 平田

●港区「みなと高次脳」定例会 「麺類のランチ付きリハビリテーション勉強会」 7月24日(日)

参加者が話しやすくなるように、ランチを取りながらという企画にし、港区の支援の方(OT、相談支援員、介護専門職)

と高次脳のご本人・家族との交流を図りました。

==== 支援者からは、「自分の専門以外の方達との情報交換や連携が無い。認知症と高次脳機能障害の方の違いを分からない支援者もいる。ケアマネが高次脳機能障害を分かっていない。医療の講習会に参加すると医療従事者向け。他からも知識を得られる機会が欲しい。」家族からは、「急性期病院のリハビリは時間に限りがある。家族にもできるリハビリを指導して欲しい。就労は最大のリハビリなので可能な限り意識して接してあげて欲しい。」子供の時に右側半身麻痺・言語障害になった方からは、「リハビリが嫌で仕方がなかった、就職した頃は、見た目に分からない言語の障がいへの周囲の理解が無かったことをハンディに感じていた。今では他人に素直に頼めるようになり、障がいがあることを言い訳にしたくない。」障がいをもって8年の若者からは、「振り返るとマイナスの経験もプラスになっていくと分かった。」 今回の勉強会は高次脳機能障害全体の今後の課題や改善を含みながらの定例会終了になりました。==== 「みなと高次脳」代表 高井玲子

●いちごえ会 第2回学習会 高次脳機能障害を持っている「君にカスタマイズした働き方を学ぶ」

7月31日、小金井市貫井北公民館

座長：上田敏先生 いちごえ会顧問（公財）日本障害者リハビリテーション協会顧問 元東大教授

「カスタマイズ就業とは」 : 飯尾雄治氏 カスタマイズサポートセンター

「ディスカバリー（発見）入門」 : 清野絵氏 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター

「ディスカバリーの実際」 : 峯尾舞氏 医療法人社団 北原国際病院リハビリテーション科作業療法士

==== 多くの方が参加され、演習では当事者が仕事上の理解されない悩みを堂々と発表され、活発な意見が次々出てきました。定員以上の参加者で熱気があふれ盛会でした。==== いちごえ会 代表 増村 幸子

○高次脳機能障害者と家族の会主催、ボウリング&ランチ会！ 8月21日（日）、10:45～14:00

集合場所：笹塚ボウル 3階ボウリング場（渋谷区笹塚 1-57-10）

京王線、都営新宿線、笹塚駅前 改札を出て左手、甲州街道の方へ行くとすぐ

参加費：2000円（会食のみは1000円）

参加人数、各参加者氏名、連絡先を添えてFAX・メールで申し込みをお願いします。受付締切：8月15日

FAX：03-3200-8970（太田）、メールアドレス：koujinou.kazokukai@yahoo.co.jp

当日連絡先：090-8036-8606（太田）090-9204-2521（松枝）

* 会員でない方もどうぞご参加ください。但し、申し込み多数の場合は、会員優先になります。

<葛飾区高次脳機能障害講演会>

○9月4日（日）13:00～15:00

「高次脳機能障害医療機関が行う支援 地域につなぐ支援」：渡邊 修 氏

○9月30日（金）18:30～20:30

「高次脳機能障害と ともに歩むために」：高田 耕太郎 氏（いずみ記念病院リハビリテーション科医師）

◇ 会場はともに、ウエルピア かつしか1階 ひがほりめもりあるほーる

お問合せ・申し込み 葛飾区地域活動支援センター（ウエルピア3階）

〒124-0006 葛飾区堀切 3-34-1 ☎ 5698-1336

○調布市高次脳機能障害講演会 調布社協ドルチェ／社のハーモニー♪ 共催

9月17日（土）、13:00～15:00、調布社協201～203室、定員：80名、締切：9月13日

「誰にでも起こりうる高次脳機能障がい ～地域での回復を考える～」:長谷川 幹氏

◇問合せ・申し込み 調布社協ドルチェ ☎042-490-6675 FAX 042-444-6606

〒182-0026 調布市小島町 2-47-1

○国分寺市 はばたけ！！ サンサンゆめまつり 10月16日(日) 10:30～14:30、国分寺市障害者センタ

ー

内容:模擬店・ステージ・子どもコーナー、メビウスの WA は、模擬店で参加(予定)

・当事者・家族が撮った写真で作った写真ハガキ・手作り小物等の販売

・高次脳機能障害の啓発活動と相談コーナー

◇問合せ ・国分寺市障害者センター 〒185-0024 国分寺市泉町 2-3-8 ☎ 042-321-1212

◇ご案内 —メビウスの WA 代表 橋本紀子

障害者センターの利用者及び家族、関係者、地域住民及び地域諸団体との交流やつながりを目的としたイベント。地域での活動の一つとしてメビウスの WA の参加歴 8 年目。初めは手探りで家族主体で手作り小物の販売から始まり、ハンドベル演奏、リサイクル(バザー)、折り紙コーナー等も…。数年前から少しずつ当事者主体に日常撮りためた写真や絵手紙をハガキやバッチにして販売するなど内容を工夫しています。今年もメビウスの WA を知ってもらいたいアイデアが出て準備中です。お時間があつたら遊びにいらしてください。

○青梅市高次脳機能障害者支援セミナー 10月20日(木) 13:30～15:30、青梅市役所 2 階

主催:青梅市・青梅市障がい者サポートセンター、協力:西多摩高次脳機能障害者支援センター・家族会なんてんの会

「知らないのは無いのと同じ」～高次脳機能障害と社会資源の活用～:瀧澤 学氏(神奈川リハビリテーション病院)

◇問合せ 青梅市障がい者サポートセンター 〒198-0014 青梅市大門 2-261-1 ☎ 0428-30-0152

○失語症をお持ちのご本人様、ご家族様対象 相談室 場所:言語生活サポートセンター訓練室

相談日:8月6日、10月15日、12月10日、2月4日、午前 10 時半、午後 1 時、午後 3 時(おひとり 1 時間半)

— 日時は変更するときがありますので、必ずホームページなどでご確認をお願いします。

費用:1 回につき2000円(税別)

◇申し込み:フォーム、FAX で予約してください。詳しくは下記をクリックして下さい。

<http://www.gengoseikatsu.com/2016/04/05/>

◇問合せ: 株式会社言語生活サポートセンター失語症なんでも相談室

〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5 丁目 16-14 カパビル1階 ☎ 03-6915-1877 FAX 03-6915-1878

【3】行政等の活動

* *

<港区主催「高次脳機能障害 相談会」(TKK 受託事業)>

28年4月～29年3月、毎月第三木曜日午後、港区立障害保健福祉センター6階相談室

◇申込み先:港区障害者福祉課 03-3578-2457、相談者は港区在住に限定せず

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=161

● 中央区講習会 「高次脳機能障害の理解と支援について」

6月19日午前、中央区立福祉センター3階会議室

==== 中央区としては、高次脳機能障害支援普及事業による初めての講習会でした。まずは支援者や当事者、ご家族、一般区民への理解啓発を目的として講習会を開催したようです。渡邊 修先生(慈恵第三病院 リハ科医師)の図やイラストによる分かり易い、巧みな講演は、高次脳機能障害を知らなかった方にもしみ込んでいったようです。講演後に活発な質疑応答が続き、正午が過ぎても終わらないほどでした。====細見 好昭

- 平成28年度第1回北多摩南部医療圏(武蔵野、府中、調布、三鷹、小金井、狛江)高次脳機能障害支援普及事業「高次脳機能障害地域支援研究会」、7月3日午後、東京慈恵会医科大学医学部看護学科大講堂
- ・講演「高次脳機能障害のある方へのソーシャルワークの実際～事例紹介」:慈恵第三病院 MSW 鈴木 亜都佐氏
- ・「お二人の当事者からのご発表で学ぶ公高次脳機能障害」事例検討・報告:小金井あんず苑 OT 武市 裕貴氏
- ・事例検討 報告会:慈恵第三病院リハビリ科医師 秋元 秀昭氏

====渡邊 修先生が慈恵第三病院に就任以来、北多摩南部医療圏の地域支援には目覚ましいものがあります。講演1の、慈恵第三病院 MSW 鈴木 亜都佐氏の講演は素晴らしいものでした。ソーシャルワークの実際と事例紹介でしたが、重い高次脳機能障害を負った患者様とご家族のこれからの人生を、至れり尽くせりの補償と支援で心配なく生きていけるよう、繋いでいる事例を学ぶにつけ、これほどまでにフォローしてくださる MSW さんが全ての病院におられたら、どんなに多くの当事者やご家族が救われるでしょう、と感激した次第です。====細見みゑ

- 平成28年度第1回、高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会、7月6日、都心障 12階研修室
- 委員:TKK 細見 みゑ理事長、傍聴:藏方 律子副理事長、小澤 京子副理事長

====渡邊 修先生を座長として、総勢13人(2人欠席)の委員で、委員会が開催された。この会議は毎年、都心障センター地域支援課及び都福祉保健局障害者施策推進部精神保健医療課が事務局となって、年二回開催される。第1回目の今回の議題は、(1)高次脳機能障害支援普及事業実施状況、(2)小児高次脳機能障害に関する取り組み他、であった。27年度には、区市町村高次脳機能障害者支援促進事業を実施した地域が、区部で20区、市町村で13市1町の、計34箇所に及んだとのこと。高次脳機能障害者支援普及事業(専門的リハビリテーションの充実)も、12の拠点病院全域で実施された。相談実績も詳細に発表され、新規の相談総数は年々減少してきているが、各地域の相談窓口が充実してきたこともあり、難しい案件が持ち込まれてくるが多くなったとのこと。また相談支援研修会、社会生活評価プログラム、就労準備支援プログラム等々の実施状況の詳細報告もあった。今回新しいところでは、小児の高次脳機能障害に関する取り組みが始まり、小児高次脳機能障害のパンフレットが完成し配布された。TKKも、27年度「医療及び家族相談会」の実績を報告した。====細見みゑ

- 意思疎通支援、第2回失語症理解入門講座～会話実践練習付き、7月22日、羽村市障害学習センターゆとろぎ

主催:西多摩高次脳機能障害支援センター(大久野病院)

協力:あきる野「こーゆう」(高次脳機能障害の当事者と家族の会)・青梅市失語症友の会 うぐいすの会

講師:西多摩在勤の ST さん

====受講者の大半は、ケアマネさんで54名。ST.当事者.家族.企画スタッフ合わせて総勢86名の参加。失語症を含む高次脳機能障害のある方の意思疎通支援のニーズの高さを感じました。

今回、協力して下さった失語症のある方は、発症原因も異なり、高次脳機能障害も、失語症の他に、記憶障害、注意障害、遂行機能障害等、多岐にわたっていました。STの先生方の配慮(紙、鉛筆、地図、絵、ジェスチャー)で楽しく

会話をしていました。受講者の真剣な眼差しと姿勢には頭が下がり、高次脳機能障害を理解して支援して下さると確信しました。

==== あきる野市 あきる野「こーゆう」代表 藤原みどり

●第2回 東京総合高次脳機能障害研究会(区中央部高次脳機能障害支援普及事業共催)

8月6日、7日 東京慈恵会医科大学 大学本館2階 中央講堂、 対象者:医療・行政・福祉専門職・患者、家族

テーマ:高次脳機能障害の基礎と応用 医療から地域へ http://www.jikei-reha.com/?page_id=3692

====各講師が支援実績を元にしたプレゼンテーションであるため、これらを学んだ支援者はすぐにでも自分達の支援に取り入れて実践出来る、いや、実践・普及して頂きたいと思った。朝から夕方6時近くまで、かなりの強行軍で、しかも支援者向けでレベルが高く、専門性の深い内容であったので、受講生の多くは、脳の受容量がパンパンだったと呟っていた。特に二日目の事例検討は、会場一同が意見交換で熱気につつまれた。東京都を中心とした研究会ではあるが、北は青森・秋田、南は九州の佐賀からと言うように大勢の支援者や専門家が参加されていた。この研究会の理事を努めているので、事前の実行委員会は勿論、当日もスタッフとして参加した。====細見みゑ

○東京都福祉サービス評価推進機構 東京都福祉財団主催 9月21日(水)10:00~10:50、
「平成28年度福祉サービス第三者評価 評価者フォローアップ研修(専門コース)」基本編「障害者福祉サービスの現状を学ぶ」 会場:小田急第一生命ビル19階 東京都福祉サービス評価推進機構東京都福祉財団研修室

テーマ:「高次脳機能障害の現状とニーズ~高次脳機能障害協議会の活動から見えてきたもの~」 講師:細見理事長

○港区主催「高次脳機能障害 講演会」(TKK 受託事業) 10月22日(土)、13:30~16:30、
会場:リーブラホール(港区立男女平等参画センター)・・・東京都港区芝浦 1-16-1 [みなとパーク芝浦 1階]

講演1:「認知症、精神疾患、高次脳機能障害~~どう違うの? どう対応すればいいの?」

講師:先崎 章氏 (東京福祉大学/教授、埼玉県総合リハセンター/精神科医)

講演2:「高次脳機能障害になられた方を繋ぐ~~ソーシャルワーカーの役割 と 事例紹介」

講師:鈴木 亜都佐氏 (東京慈恵会医科大学附属第三病院/MSW)

申込み:9月6日(火) ~ 10月20日(木)、みなとコール 03-5472-3710

◇問合せ先:港区障害者福祉課 03-3578-2457

<区中央部相談窓口開設>

区中央部(港区、千代田区、文京区、中央区、台東区)高次脳機能障害者普及支援事業

電話による相談窓口が開設されました!

: 東京慈恵会医科大学附属病院・本院内

[高次脳機能障害に関する問い合わせ] ☎ 080-9989-8760 火/木/土曜日 17:00~18:00

[リハビリテーション全般に関する問い合わせ] ☎ 080-2241-5762 月/水/金曜日 17:00~18:00

いずれも祝祭日・年末年始・大学記念日(5/1、10/15)を除く

ホームページ: http://www.jikei.ac.jp/hospital/honin/sinryo/image/rehabilitation_soudanmadoguchi201509.pdf

-----∞
【4】行ってきました、聞いてきました!

* *

メルマガ編集担当者が加盟団体、関係団体の活動を見学したり、高次脳機能障害関連の催しものに参加した際、その内容、印象をご報告します。第1回は脳損傷治療の再生医療の説明会報告です。

平成28年度 TKK セミナー「再生医療はどこまで進んでいる？」～再生医療の現状と脳損傷治療の治験～

7月20日 16:15～17:45、調布市市民プラザ あくろす 2階会議室

講師：(株)メディカル・インサイト 代表取締役 鈴木英介氏 受講者：TKK 役員及び会員他

講演内容：医療領域のコンサルタントである鈴木英介氏から次の項目についての説明を聞きました。

- 再生医療って何？
- 再生医療はどこまで進んでいる？
- 再生医療の課題は？
- 治験って何？
- 脳損傷治療での治験の概要
- 情報伝達の必要性

iPS 細胞が再生医療の領域で期待されているのはご承知の通りですが、「再生細胞薬」という薬が既に開発されていて、治験が始められていることを初めて知りました。米国の大学病院で慢性期脳梗塞患者を対象とした治験が進められており、現在のところ経過は良好とのこと。

そして「慢性期の運動障害を有する外傷性脳損傷患者」に対する新たな治験が、日本を含む数か国で計画されているそうです。治験の対象者は「MRI 上確認可能な、運動障害の原因となる局所病変を有する脳損傷患者」となっています。

このような治験については、「今までにない最新の治療法を試せる可能性がある」等のメリットがある一方、「未知の副作用が出る可能性がある」等のデメリットを十分認識し判断する必要があるとのこと。

なお今回の治験について興味がある場合の問い合わせ先は次です。

ウェブサイト：<http://sb.vob.jp> 、コールセンター：0120-555-475

治験を受ける受けないは拙速に判断することではないと思いますが、脳の再生医療に期待し、その動向を注視していく必要があることを強く感じました。

〈報告者〉 矢野久喜

以上